

令和6年度

10月のおれんじサロン ひと・まち

～若年性認知症本人交流会～

令和6年10月9日（水）

それぞれの思いとは…



今日のおれんじサロンでは、それぞれのいろんな思いを聴くことができました。

職場にはいろんな人がいて、戦場のように忙しいときもあるけど、

やっぱり仕事するっていいな～ 😞

「サポーター」より、「パートナー」と呼ばれたい!!

これからは「パートナー」の人が増えるといいよね～ 😊

忙しいけど
仕事楽しい♪



本人、家族の声も
ぜひ聴いてほしいな～



認知症基本法の成立などで、「認知症当事者とともに」が意識されてきていることは嬉しいけど、

本人が何かに参画する背景に、本人にとっては「しなければ」と負担になることもあって、

それが家族の負担にもつながることがあることを知ってほしいよね～ 😊

令和6年10月23日（水）

交流する場は大事

今日のおれんじサロンでは、光華女子大学の学生さんも交えて思いを語り合いました。

学生さんから“ピアサポート”について質問があり、メンバーから、それぞれ“ピアサポート”への思いについて話されました。

- ・上手く話せないこともあるが、なんでもできるように頑張らなくてもいいと思う。
- ・心が解けて会話ができ、つながっていると感じる。
- ・構えず普通に交流することが大事。交流する場があることが大切
- ・気楽に話せることが大事。自分の状況を認識しておくことも大事。
- ・隠したり、無理しない方が続き、気楽にざっくばらんに話すことで、普段の時には出ないような話も出るよね



交流する場は大事だね



次回は令和6年11月13日(水)午後2時～開催

参加希望の方は下記までご連絡ください



【お問い合わせ】 京都市長寿すこやかセンター 電話(075)354-8741

【Facebook ページの QRコード】